

たまりば

2026 年度 秋号

Communication
通信

◆ 発行日 2026 年 10 月 ◆ 発行 認定 NPO 法人 フリースペースたまりば

〒213-0033
川崎市高津区下作延 1 丁目 11-32
TEL 044-789-9812

<https://www.tamariba.org>

E-mail : info@tamariba.org

「行きたい人がみんな行ける合宿」

とは…？

例年、八丈島で5泊6日を過ごしてきた夏合宿。今年はその形を大きく変えました。参加を希望する人が年々増えていること、天候に予定が左右されやすいこと、参加する子どもたちの年齢が低くなってきていること。島での長い合宿を続けるうえで、これらは無視できない課題になっていました。そこで今年は、子どもたちとスタッフで何度も話し合いを重ね、合宿のあり方を一から考え直すことにしました。

話し合いの末に、いちばん大切にしたいこととして決まったのは、「抽選なしで、行きたい人がみんな行けること」。そのために、電車と路線バスを乗り継いで移動することで経費を抑え、参加しやすい形を目指しました。行き先は同じ神奈川県内にある西丹沢。大人数でも受け入れ可能なキャンプ場を探し、宿泊はテントではなくバンガローで、雨風をしのげる屋根があれば年齢の低い子も安心して過ごせます。期間は2泊3日。これまでとはまったく違う、新しい形の夏合宿の始まりです。

迎えた初日と2日目は、あいにくの大雨。それでも、みんなの楽しみ方は無限大。雨音を聞きながら料理に精を出す人。雨に濡れるのもかまわず、外で

遊び続ける人。夜になると、バンガローのあちこちから楽器の音色が聞こえ、カードゲームでは歓声があがり、静かに絵を描く人の姿もありました。誰かに決められた過ごし方ではなく、それぞれが思い思いの時間を過ごす。フリースペースの日常が、そのまま山の中に引っ越してきたような光景でした。

2日目の夕飯は合宿恒例のBBQ。お腹もふくれ夜もふけてきたころ、雨がわずかに途絶え、待ちに待った花火の時間の到来です。みんなの笑顔が火花に照らされ輝いていました。

そして迎えた最終日。それまでの雨が嘘のように空は晴れわたり、念願の川遊びへ！次々と冷たい水に飛び込み、歓声をあげて、思いっきり川遊びを楽しむ姿があり、川面はきらきらと光り、水しぶきと笑い声が、夏の青空に響いていました。

島での合宿とは違う形になりましたが、「行きたい人がみんな行ける」ことを大切にしたい今年の合宿は、私たちにたくさんの気づきをくれました。天気が思い通りにならなくても、それぞれが自分らしく過ごせる場さえあれば、楽しい時間は生まれる。そして、自分たち自身が話し合って決めた合宿だからこそ、こんなにも生き生きとした3日間になったのだと思います。来年以降の合宿も、みんなで一緒に考えていきます。次はどんな夏合宿になるか楽しみだね！（いけちゃん）



認定 NPO 法人
フリースペース
たまりば
って…？

1991年川崎市高津区で、学校や家庭、地域に居場所を見出せない子ども・若者たちの居場所として活動をスタート。2003年にNPO法人の認証を受け、同年7月にオープンした「川崎市子ども夢パーク」内の不登校児童・生徒のための居場所「フリースペースえん」の運営を市より委託される。指定管理者制度の導入により、2006年4月から川崎市生涯学習財団と共同で夢パーク全体(フリースペースえんを含む)の管理・運営を行なっている。さまざまな活動を通じ、学校外の多様な学びと育ち、生き方を支援している。

たまりバラエティ

ついに実現!子ども座談会



6月に台風のため延期になってしまったたまりば報告会を9月27日に開催しました。そしてついに、企画、準備、当日の進行を子どもたちでやる「子ども座談会」を、満を持して開催することができました！6月から少し時間があいてしまっていてモチベーションが下がっているかなーと思っていたけど子どもたちはやる気満々！当日に向けて再び準備、リハーサルをしていくうちに司会の子は「緊張4割楽しみ6割」なんて言いながら当日に。朝まで仕事をして1時間睡眠で登壇してくれた若者もありました。本番が始まると、緊張しつつも堂々と自分たちの言葉でえんや自分の事を語る姿に、いつもとは少し雰囲気が違うけど等身大の彼らを感じました。その後の会計報告なども合わせて、会場の雰囲気は子ども、大人関係なく一体感があって、みんなでえんについて思いを馳せることができた心が温まる会でした。(のすけ)

たまりば通信、あらたなスタートへ

「名刺がわりに人から人へ手渡せる小さな通信をつくりたい」という思いから、2005年12月に創刊した「たまりば通信」。創刊号はA6サイズ12ページでした。当時の理事が中心となり、スタッフみんなで記事を書き、今も使われているタイトルデザインは保護者が作ってくれました。2010年夏号から現在の形になり、20年に渡り法人のさまざまな活動を伝えながら、自分たちの思いや眼差しを長く発信してきました。以前からお知らせしておりましたが、法人の事業拡大や昨今の情報発信のデジタル化などに伴い、たまりば通信は今号でこの形体での発行を終了し、メールマガジンに移行いたします。右下のQRコードからメールアドレスをご登録いただくと配信できます。(たまりばホームページからも読めます)。新たなスタートをどうぞお楽しみに！でもやっぱり紙の良さってあるよね、ということで、紙媒体ご希望の方にはメルマガを印刷したものをお送りできるかなども検討中です。気になる方はご連絡ください。(ハイホー)



20回目のフリ・フリです！

9月12日(土)に、神奈川県立青少年センターでフリ・フリ・フェスタ 2026 が開催されました。不登校・ひきこもり等の青少年や家族が参加してつくり上げる、フリースクールやフリースペースによるフェスティバルで、今年は20回目！たまりばは、焼きそば販売、書籍等の販売、ホールでは西やんをコーディネーターに不登校経験者と保護者による座談会、そしてロスえんクエントロスでフォルクローレの演奏をしました！前日は買い出し、下準備、荷物の積み込みをみんな、当日は若者を中心に焼きそばの販売、ステージは出たい人全員で歌って踊って走り回って…実は本番まであと2日という時に「漫才やりたい」という声があり、急遽フォルクローレの前に漫才という異色のコラボが実現。盛りだくさんな最高の一日となりました。夢パで荷おろししてくれた人たちも本当にありがとう！(もぐ)



つくって楽しむ、いろんな人と。

最近のえんくるは様々な人がフラットに関わり、一緒につくっていく場となってきています。

えんくる協力隊の若者が食堂のメニューを考案したり、得意を活かして遊びに来た子とスライムを作る企画をしたり。常連親子が連れて来たメダカが産卵し、育つ稚魚を「ちいさいおさかな〜」と、みんなで見守ったり…そんなゆるく楽しい日々を送っています。また、8月には初の縁日企画をし、出張駄菓子屋さんにも来てもらいました。足の踏み場がないくらい沢山の親子が集まって大賑わい。急遽お手伝いに来てくれた大学生が「へい！焼きそば一丁！」と元気に焼きそば係をしていると、それを見た小学生と年長の兄弟が「かき氷いかがですか〜！やすいよ〜！」と加わって、なかなか笑いの絶えない楽しい縁日となりました。子どもも若者も、大人も、始めましてでもなぜかうまく関わり合って楽しめる そんな瞬間が日々増えているえんくるです。(きなちゃん)



指定管理施設

『やってみたい』がいっぱいある場所です 川崎市子ども夢パーク

川崎市高津区下作延5-30-1
TEL 044-811-2001 FAX 044-850-2059
<https://www.yumepark.net/>



ブリュッケだより

～「やってみたい」が盛りだくさん～



この夏ブリュッケは、音楽に、地域のお祭りに、若者たちの「やってみたい」に囲まれた夏でした。「やってみたい」から始まって、みんなで考えて、やってみて、時には悩んで。そんなブリュッケの夏の様子をお届けします。7月24日、初の音楽イベント「輪（わ）ちゃちゃ」を開催。初開催なので、まずは緩やかに。若者の言葉を借りて説明すると、「深くつながりのある方と、若者が呼びたい人を限定的に呼ぶ」というセミオープンで行いました。当日は30人近いお客様が来場。半年前から何度も話し合い、練習にも取り組みました。音楽だけでなく、ボードゲームや作品展示もあり、会場全体が楽しさでいっぱいでした。8月には、武蔵新城の夜店市「にぎどん」にて、今年はフランクフルトとベビーカステラを販売。

ベビーカステラは何度試作を重ねたのでしょうか。当日、特に子どもに大人気！お店が並ぶ中、「ベビーカステラはここでしか買えない！」と喜んでいただきました。（えりさん）



HAPPY えんぶりデイ

★写真家のトヨタヒトシさんによる「フィルムカメラで撮ってみよう！写真ワークショップ」を開催しました。みんなは最初、撮ったものがすぐに見られないフィルムカメラに戸惑いながらも、楽しそうに撮影をしていました。撮影した写真のスライドショー上映会を予定しています。どんな作品が飛び出すのか??どうぞお楽しみに！（えづれちゃん）

★夢パまつりの舞台裏では、毎年保護者のみなさんたちが大活躍！カレー作りの準備から片づけ、当日来るボランティアの方たちへのまかないご飯の提供などを一手に引き受けてくれています。200食ものカレーを作るのは大変なことなのに、楽しそうにおしゃべりしながら、愛情を込めて作ってくれて、今年のカレーもおいしかったです！（たかこ）

★私ができる唯一のゲーム「ポケモン GO」。2017年に、出会った中学生に誘われて始めた。事務室にいと、今日もオノッチが「始まるよ～」と誘いに来てくれる。夢パ事務所前で子どももおとなもスマホ確認→準備 Ok。数分間の真剣で、燃える戦い。「ゲームは、人のつながりをつくる」とモグがつぶやく。みんないつでも入って来て～！（かずえ）



映画『夢みる小学校』や『夢みる校長先生』など、話題の映画を撮り続けているオオタヴィン監督の新作が発表されました。『夢みる翼』。来年2027年夏公開予定です。

この映画は『下町ロケット』のモデルの一つとなった、従業員が20人程度の北海道の小さな町工場の社長である植松さんと私とのマッチングから構想が始まりました。

ご自身も不登校の経験がある植松さんは、そのご著書の中で、「普通は学校くらい行けるという空気に押しつぶされて命を絶つなんて絶対あってはならないことです」と語り、「いやだ」と言っていていい、逃げていい、「一番大切なのは、君の命です」と書き記しています。この考え方は、私が「生きてるだけですごいんだ」と言い続けてきた考えと重なるんですね。

そこで、学校に行きづらい子どもたちへの応援になるような映画をつくりたいという監督の申し入れを受けて、撮影がスタートしました。

たまりばのOBの子たちや保護者、いまえんに来て子どもたちへの取材へと広がり、夢パで泥んこになって遊ぶ子どもたちの姿も追っかける中で、テーマはもっと幅広く、子育て中の保護者を応援する映画へと広がりつつあります。

植松さんが出演した「TED」をYouTubeで見ると、850万回も再生されています。学校の先生から、「ロケットづくりなんて、よほど頭がよくなくちゃダメで、お金もかかる。」「お前なんか飛行機やロケットなんて作れるわけがない」「どーせ、無理」と言われた植松さん。それでも独学を重ね、お母さんの「思うは招く」（思ったらそうなるよ）という言葉に励まされ、ロケットや人工衛星づくりに携わり、日本にここにしかない無重力状態をつくり出す実験装置までつくりました。NASA（アメリカ航空宇宙局）や日本のJAXAからも学びに来ています。

「どーせ、無理」という言葉は、人間の自信と可能性を奪う言葉です。でも、「だったらこうしてみたら」で夢はかなう。「教育とは、死に至らない失敗を安全に経験させるもの」。この植松さんの言葉が、今の子どもたちや大人たちに届く映画になったらいいと思います。

たまりばをつくって35周年の今年、植松さんとコラボできる映画づくりは、ワクワクします。生の植松さんとお会える機会もつくれるといいですね。（西野博之）



川崎若者就労・生活自立支援センター
ブリュッケ

「Brücke」は、ドイツ語で「かけ橋」。

居場所で人と人がつながり、居場所から地域へ、地域から就労へ、様々なつながりが生まれていく。

そんな人から人への「かけ橋」になっていけたら・・・。

*ブリュッケでは、川崎市内にある福祉事務所のケースワーカーと連携し、15～39歳までの若者たちの居場所・就労支援を行っています。

ご支援いただきありがとうございます

(2026.6.1～2026.8.31)

NPO 法人フリースペースたまりばに、応援会員として会費を入金してくださった方、カンパをいただいた方のお名前です。
(敬称略・順不同。希望されない方は掲載しておりません。掲載もれなどの不備がございましたら事務局までご連絡ください。)

赤野香織、赤野一将、秋沢京子、朱田貴美、新井琴乃、新井倫子、飯沼光津子、石田静子、
伊藤多美恵、今村久美、岩出孝洋、内田成信、内田孝裕、梅田浩二、大石雄太、大内朝美、
大堀悠、岡田孝子、沖田裕義、沖津三千治、奥田礼子、小野紳二、小原宏一、金子綾子、
亀井三由希、亀ヶ谷護、菊地紫都季、木崎志保、木原弘恵、木村純一、栗原英美、古泉聡洋、
コンペイトウ、斎藤、酒井しずき、坂上優子、佐々木剣、佐々木萌々歌、椎野修平、重江良樹、
清水彩可、清水早織、鈴木晶子、鈴木健吾、鈴木菜美貴、鈴木美汐、田老香奈、田老幸子、
高間智浩、竹内昭、竹内多恵子、田邊恵佑、手柴充博、道前弘志、戸塚勇人、中川裕子、
新居千文、新田学、野口由美子、野田岳志、林貞成、林摘菜、比嘉孝平、平野知恵、
広岡希美、廣渡明子、福田竜太、堀池雄司、本田正男、間嶋葉月、松浦えりか、
マリックスドルディン、三浦いつみ、森口幸信、家治寛、安田靖子、山口正芳、
山下泰司、山下時生、山下晴子、山本哲也、横山清香、吉井望、吉田裕子、吉村友紀子

応援会員募集中!!

フリースペースたまりばの活動のためにあなたのお力が必要です!

【振込先】郵便振替口座 00200-2-57382

特定非営利活動法人 フリースペースたまりば

*郵便局の自分の口座からなら、手数料が無料で振り込めます。

※他金融機関からも入金できるようになりました。

口座番号は↓(支店名を「セ」で検索してください) ※

〇二九(ゼロニキュウ)店 (029) 当座 0057382

詳しくは事務局まで TEL 044-789-9812

たまりば通信が メルマガになります!

今後たまりばの活動は

メルマガでお知らせします!

右のQRコードを読み込んで

お名前、メールアドレスをご登録いただくと

今後届くようになります(年4回くらいを予定)。

ご不明点などは事務局までお知らせください。

TEL: 044-789-9812 Email: info@tamariba.org



コミュニティスペースえんくる

えんくるは、フードパントリーを併設した「まちの広場」です。

子どもはもちろん、誰もが立ち寄れる居場所を目指しています。

〒213-0033 川崎市高津区下作延1丁目11-32 TEL: 044-813-5248

公式LINE



各種 SNS もやっています

日々の活動の様子は
こちらをごらんください♪

たまりば



イベント告知や
事務局からのお知らせ

えんめしぐらむ



フリースペースえんの
お昼ご飯「えんめし」の投稿

ブリュッケブログ



ブリュッケの日々の活動や
お昼ご飯などの様子

えんくる



えんくるのスケジュールは
こちらをチェック!

川崎市子ども夢パーク



夢パークの楽しくて面白い
瞬間がたくさん